

# 薬草展

一階 城輪柵跡展

展示資料目録



開催期間 1982年5月26日～6月20日

開館時間 9時30分～16時30分

休館日 月曜日・祝日

入館料 大人100円・児童生徒50円

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL (24) 6544

品名	薬効
35 セニンソウ	毒草！危険：外用として生薬1～2枚をよくもみ手首の内側に張る。ガーゼでおさえる。発泡作用により赤くなるが：へんとうせんの痛みを取る。
36 ダイモンジソウ	利尿剤：全草5～10g-1日量/水400cc 半量とし1日3回空腹時服用。
37 タケニグサ	毒草：危険：外用 茎葉のせんじゅうでタムシ等、または害虫駆除剤
38 タラノキ	幹皮・根皮：日干したもの、胃炎・糖尿病
39 タンポポ	全草…解熱・発汗・浄血・6gせん用、根…健胃剤として、乾燥根・5～10g/200cc-1回量。
40 ツワブキ	根茎：10月ごろ採取、日干、10～20g/400cc・約 <sup>1</sup> / <sub>3</sub> 量・一回。 上記は、健胃・魚毒((フグ・カツオ)・食当り等の下痢止として用いる。 生薬：火にあぶり、柔らかくなったものを、患部にはる…打撲・切り傷・はれもの 蒸乾根：10～20g-せん用、強壯・緩下・疝疾。
41 ツルドクダミ	全草：蔭干 10～15gせん用、りん疾病・尿道炎・血管補強、生薬：蓄のう症・鼻づまり、
42 ドクダミ	根茎：乾燥品4～12gせん用、滋養強壯・鎮静・ぜん息、
43 ナルコユリ	果実：5～10g-せん用、ぜん息・百日せき、葉：強壯、
44 ナンテン	生茎葉：強壯・強精・下痢止、みそしる・みそあえ・ニラガユ等食事療方、
45 ニラ	種子：乾燥種子30～40粒/1回量を水で服用、腰痛・ひん尿、
46 ネムノキ	春秋にかけて、葉と小枝を日干・外用：40～50g+焼塩5g/1ℓ…を半分にし、水虫・手のあれ等に洗浄用として使う、外皮は、打撲の湿布に利用す、若葉：食用とし、貝原益軒の花譜によると、五臓を安んじ、喜び楽しんで、憂なからしむ、という。
47 ノイバラ	果実：5g以下：粉碎したもの・しゅん下剤・利尿剤、
48 ノブドウ	根を日干しにする、かん節痛・リュウマチ等に：10～15g/400を <sup>1</sup> / <sub>3</sub> 量とし3分服、 外用：目の充血に5～10g/200、洗眼す。 果実：酢づけにしたもので湿布剤：腹膜炎等々の消炎に用いる。
49 ハコベ	全草要時採取：青じる+食塩 乾燥させてハコベ塩を作り、歯みがきに利用す。 盲腸または類似症状に、青じるを多量用いるが、確効ありとは証明されていない。
50 ハマボウフウ	根を細刻し蔭干しする：風邪・頭痛等に5～8g/200cc 半量にせんじ温服す。 300～500gの乾根をなべて煮出し、浴用とする。血行をよくし湯ぎめしない。
51 フジ	フジコブ：10gの粉末：1日2～3回に分服、胃ガン等の制ガン剤とする。 種子：1～3g/300cc：半量までせんじ、空腹時に服用して下剤とする。
52 フキ	フキノトウ：未開のもの、1日量10～20g/400ccせん用 せき止とする。
53 ミソハギ	葉茎：10gせん用、血便を伴う下痢・気管支内出血・肺結核、 下痢止：6～12g/400cc・ <sup>1</sup> / <sub>3</sub> を食前30分に服用、
54 ムクゲ	花：つばみの内に取り、日干しする：3～6gを1回量-下痢止とする。 乾燥皮は細刻10g/ホワイトリカー200cc(3～6ヵ月浸)・水虫にぬる、
55 モモ	白桃花：3～5gせん用：利尿・血の道・生理不順
56 ヤツデ	桃仁：アルデロール効果・便秘・虫下しに・しゅん下剤とす。 葉：1g以下…アルコールエキス：きょたん剤とし内服、 外用：浴剤として、リュウマチスに応用、
57 ユキノシタ	乾葉10gを1日量としてせん用、利尿・下毒、生薬：食塩をかけてもみ、生じるを口にふくませる。-小児のひきつけ、生薬：火にあぶって、はれものに張り、吸出しとする、
58 ヨモギ	乾葉：5～8g/1日量…せん用：健胃・貧血・内出血、 乾葉：生薬・共に浴用とし腰痛・腹痛・疝の痛みに用いる、
59 リンドウ	根：乾燥したものを粉末とし食後・0.5g服用…健胃消化剤、
60 ハハコグサ	全草：開花時に日干す。10g/200cc：半量としてせん用、 たん及せき止、春の七草の内オギョウとよばれる。

※花の写真提供 山形市田中写真館・県薬用植物園

写真 山王の森 “カキドウシ”

## 薬草鉢品目

品名	薬効
1 アジサイ	解熱剤として、乾草花—2~4gを1回 せん用
2 アケビ	じんぞう炎・ぼうこう炎・尿道炎 乾燥
3 アオキ	やけど・はれもの・凍傷・生の葉を弱火であぶり、患部にあてて軽く包帯で押さえる。
4 イ	利尿剤・不眠 5~10g—茎をせん用、黒焼は、子供の夜泣に用いる、
5 イカリソウ	強壯・強精・健忘症等に8gせん用(葉茎)、仙露酒
6 イタドリ	緩下剤・利尿剤、根10gせん用、甘草の刻みと共にせき止、
7 ウスベニタチアオイ	花茎葉・共に20gせん用・気管支炎・胃炎・せき止、外用：かん腸、
8 オオバコ	全草・10~15g、利尿剤・妊娠じん・ぼうこう炎 種子・2~5g 鎮がい剤・下痢止
9 カキドウシ	葉茎・10~15g・せん用、小児のかん・ひきつけ・糖尿病等、
10 カタバミ	要注意：外用—寄生性皮膚病・虫刺され等に生葉のしるを、すりこむ、
11 カラスビシャク	日本薬局方収載品目であり、単品では用いないが、漢方処方的重要生薬である。 つわり・自律神経失調・更年期障害等々、応用範囲は広い、
12 ギョウジャニンニク	食用：強壯・強精・ニンニク様効果
13 キキョウ	根：4gせん用、肺熱を取り、せき止、たんを切る、
14 キシキシ	根：5gせん用、大黃の代用—緩下剤、
15 キハダ	乾燥した内皮の粉末：1回1g/1日3回—健胃整腸・下痢止・ 粉末に食酢を加えて、ペースト状にねり、打撲症の湿布剤、 民間：茎葉2~3gをすりおろし、酒により内服・はれもの・うち身等
16 キボウシ	乾燥した全草：8~10g 1日量、せん用、温服すべし—下痢止
17 キンミズヒキ	口内炎：5gを200ccの水で半量にせんじ、さましてから、うがいをする
18 クチナシ	果実・花のつぼみ：7~10g、せん用、黄だん・と血・利尿・二日酔・鼻血 乾燥納豆5g+クチナシ2g、/水200ccせん用—のぼせ症の充血と頭痛、
19 タチクサスギカズラ	・クサスギカズラの変種、根：水洗乾燥・外皮をはぎ、30分蒸した後日乾す。 強壯剤として、ハチミツづけとしたものを1日、2~3個たべる
20 クコ	茎葉：5~15g せん用 解熱・強壯 果実：200g/1ℓの酒 1~2か月後 1回20cc 強心・強壯 生食注意!!
21 ゲンノショウコ	全草：下痢止 1日量20g/水400ccで <sup>1</sup> / <sub>2</sub> までせんじて用いる。 高血圧予防：ゲンノショウコ10g+ドクダミ10g+ケツメイシ5g(御茶がわり)
22 コブシ	花のつぼみ・陰干し—蓄のう症・鼻炎、オナモミ9g+ヨロイグサの根30g— +ハツカ薬15g：細末とし・1回6g・食後服用
23 コンフリー	薬：食用 強壯剤
24 サイコ(ミシマ)	単味ではあまり使われない、漢方処方の重要品目である。抗炎症作用・肝臓機能の正常化 作用・等々で応用範囲が広い。根：50gせん用の場合—寒熱性疾患・マラリア・ツツガムシ病、
25 サイカチ	熟したさやを日干しにする、：1~1.5g/水300cc半量にせんじ一回分とする。きよたん剤、
26 サボン草	乾燥根茎：粉末として1回量0.5~1.5 水で服用、きよたん剤：慢性皮膚炎・等に用いる。
27 サルトリイバラ	土伏リョウの代用品、利尿剤：10~15g 1日量/200ccで半量にせんず。 おでき・にきび等々も上記と同様、空腹時・1日3分服。 (アサクラ) 芳香薬・魚類の臭気消し：かい虫駆除
28 サンショウ	(アサクラ) 芳香薬・魚類の臭気消し：かい虫駆除
29 ジキタリス	要注意：蓄積作用有り！個人では危険※ 強心利尿剤
30 シヤクチリソバ	根茎：10g せん用、コレステロール除去、血管壁補強、
31 ジャノヒゲ	乾燥根(麦門冬) 5~10g+ハチミツ同量を加えてせん用・強壯・強精・せき止
32 ショウブ	根茎を浴用とす・神経痛・リュウマチス
33 スズラン	君影草—毒性が強く危険！ 全草 0.5gせん用・強心利尿剤、
34 スミレ	全草：食用 神経鎮静作用・血液浄化作用を有す、